**容易な耐震診断調査票**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 調査日時 | 令和　　　年　　　月　　　日　　　　　 | 木造住宅の調査を行った方の氏名と調査日を記入してください。 |
| 調査者氏名 |  |
| Ⅰ）建築物の概要 |
| １建築物の所有者 |  |
| ２建築物所在地 | 豊橋市 |
| ３階数 | □平家建て　□２階建て | 該当する項目にチェックしてください。 |
| Ⅱ）前提条件の確認 | 全て該当する必要があります。 |
| １構造・用途 | □ 木造の住宅であること |
| ２建築年月日 | □ 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した |
|  | □【添付】木造住宅、建築年数が確認できる書類　（例）家屋証明書、納税通知書、登記簿の写しなど |
| Ⅲ）一見して倒壊の危険性があると判断できる項目 |
| **１つでも該当**した場合は、**倒壊の危険性がある**ため、木造住宅解体工事費補助**の対象**となります。□【添付】　危険性の状況を確認できる写真　　　　　　（１）　撮影した危険箇所が建物のどの部分か判断できる写真　　　　　　（２）　その危険箇所の危険性が判断できる拡大写真　　　　　　　　　 ※　写真には下記該当部分を〇で囲む |
| 建物全体 | □ 全体又は一部に崩壊がある |
| □ 全体又は一部に傾斜や変形がある |
| 地盤・基礎 | □ 地盤沈下が生じている |
| □ **基礎**がコンクリート以外（**玉石、石積み、ブロック等**）である |
| □ **基礎がコンクリート**であり、**ひび割れや欠損**が見られる |
| 老朽・腐朽 | □ 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある |
| □ 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽がみられる |
| □ 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損がみられる |
| Ⅳ）壁の割合 　**Ⅲ）一見して倒壊の危険性があると判断できる項目に該当がない場合** |
| □　壁の割合計算表（割合が０．８未満）※　記入方法について疑問がある場合は、建物の図面を用意して、市役所にご相談ください。 |

**お問い合せ先　☎ 0532-51-2579　豊橋市建築物安全推進課（豊橋市役所３階）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 市役所記入欄 | 倒壊の危険性 | 確認年月日 | 担当者 |
| □有り　　□無し | 令和　　年　　月　　日 |  |

**壁割合算定表**

壁の割合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **イ** | **ロ** | **ハ** | **二** | **ホ　壁の割合** |
| 　方向 | 壁の長さ（ｍ） | 建面（㎡） | イ／ロ | 必要値 | ハ／ニ |
| Ｘ | ① |  |  |  |  |
| Ｙ | ② |  |  |  |  |

（イ） 壁の長さの合計

① Ｘ（横）方向 ② Ｙ（縦）方向

ｍ ｍ

②

①

①②のうち**小さいほう**を記入してください。

ｍ

イ

（ロ） 面積

㎡

ロ

（ハ） 単位面積あたりの壁の長さ

÷ ＝

ハ

ロ

イ

（ニ） 必要な壁の長さ

ｍ

二

下の表から該当するものを選んで記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平 家 | ２階建 |
| 軽い屋根（鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等） | ０．２０ | ０．５２ |
| 重い屋根（かや葺・瓦葺等） | ０．２７ | ０．５９ |

（ホ） 壁の割合

÷ ＝

ホ

ニ

ハ





